



早いもので、今年も後1ヵ月となりました。今年は夏から秋にかけて急激に寒くなり、風邪でお休みした子も沢山いました。園ではこまめな手洗い・うがいを呼び掛け、風邪の予防をしています。ご家庭でもお子様の体調管理に十分な配慮をお願い致します。

年末年始の急病は？

年末年始は、ほとんどの病院が休診となります。お子様の急な発熱やケガに備えて、事前にかかりつけの病院の他、近くの救急病院の診療時間や休診日は確認しておきましょう。又、帰省先の救急病院の情報も把握しておく事が大切です。

先月の感染症

手足口病	9件
マイコプラズマ肺炎	1件
伝染性紅斑(りんご病)	1件

※休みの間に体調の変化(熱、嘔吐、下痢、痙攣、湿疹等)があったときには、登園したら保育士に必ずお伝え下さい。

感染性胃腸炎が流行り始めています

- ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合があります。
- 下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心掛けましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんとして行って下さい。



汚れた衣服は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物で消毒します。



消毒が出来たら洗濯機に入れても大丈夫です。

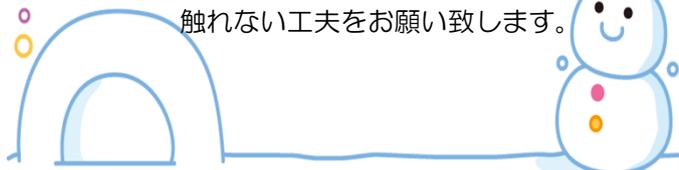


汚れた場所もしっかりと消毒を行いましょう。



冬休みの 注意点

お休みの間は生活リズムが乱れやすくなるので、夜は決まった時間にお子様と一緒に布団に入るようにしましょう。また、ポットやファンヒーターなどによるやけども起こりやすいです。お子様の手が触れない工夫をお願い致します。



RSウイルス感染症

毎年、寒い時期に流行る呼吸器感染症です。1歳までに50%、2歳までにほぼ100%の乳児が感染しますが、終生免疫はないため、その後も再感染を繰り返します。生後6ヵ月以下の乳児は重症化して入院する場合もあり、特に注意が必要です。家族内にかぜ症状がある場合は、全員でマスクを着用して予防しましょう。